

---

## 「心原性ショックに対する機械的循環サポートの選択と予後の関係性についての研究」

### に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療記録を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

#### 研究の概要について

##### 1. 研究の対象となる方

病院長の実施許可日から 2026 年 12 月 31 日の期間に院外心肺停止となり、当院に搬送となった患者さんを対象としております。

##### 2. 研究の目的

院外心肺停止は生命予後、脳神経学的予後の悪い状態であり、心肺蘇生術、血液の循環を補助する機械の導入、薬物療法等で救命に努めますが、生存退院や社会復帰出来る可能性は低いのが現状です。その治療としてはしばしば ECMO、IABP、Impella といった機械的循環サポート（MCS）が導入されます。しかし、現在の治療ガイドラインにおいては院外心停止後での MCS のエビデンスは限定的であり、選択基準が明確に定められていないのが現状です。本研究では、院外心肺停止患者における MCS の選択とその組み合わせが生命予後および脳神経学的予後に与える影響を解析し、予後改善のための最適な治療戦略を明らかにすることを目的としています。また、これにより心原性ショック患者のリスク層別化およびガイドラインの策定に貢献することを目指します。

##### 3. 研究期間

病院長の許可後～2031 年 12 月 31 日

##### 4. 利用または提供の開始予定日

2025 年 3 月 8 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

## 研究に用いる試料・情報について

### 1. 試料・情報の内容

患者さんの身体所見、検査データ、診療記録を用いた研究を行います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、個人情報安全管理担当者の谷昂大が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

### 2. 試料・情報の取得方法

「蘇生に成功した心停止」「心肺停止」「来院時心肺停止」「心室細動」「心室頻拍」が主病名で、院外心肺停止で当院に搬送された患者さんの情報を診療録（カルテ）から収集します。

### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者：	心臓内科	医師	教授	重城 健太郎
研究実施者：	心臓内科	医師	助教	阿部 拓朗
	心臓内科	医師	講師	小宮山 英徳
	心臓内科	医師	助教	河原 勇貴
	心臓内科	医師	助教	奥田 希子
	心臓内科	医師	助教	小形 円香
	心臓内科	医師	講師	石原 嗣郎
	心臓内科	医師	助教	谷 昂大
	心臓内科	医師	助教	安藤 敏行
	心臓内科	医師	助教	北川 快
	心臓内科	医師	助教	三好 晃太郎
	心臓内科	医師	助教	橋本 淳貴
	心臓内科	医師	助教	米山 史華
	心臓内科	医師	助教	沼賀 美紀

### 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

## お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981  
埼玉医科大学総合医療センター  
担当 心臓内科 教授 重城 健太郎  
TEL : 049-228-3587 (直通)  
(平日 9 時 ~ 17 時)

- 研究課題名：心原性ショックに対する機械的循環サポートの選択と予後の関係性についての研究
- 研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター 心臓内科 重城 健太郎